



Institute for Oral Reconstruction

検索すれば様々な情報を得ることができる現在、「どうにか歯を残せないか?」と治療法を模索して歯科医院に来院される患者が増えているように感じます。

我々 I.O.R. はインプラント治療に関する検証を通して、自身の臨床力の向上を追究し研鑽してきたチームであります。

インプラント治療と歯内療法は、一見対極にあるように見えますが「口腔全体の保全」という観点から見れば、アプローチは違えど、それぞれがその役割を担っています。インプラントが予知性の高い治療法として確立された今だからこそ、我々歯科医師は「一歯の保存」に全力をつくすことが重要であると考え、歯内療法を再考すべく、お二方の先生をお招きして特別講演会を開催する運びとなりました。新しい器具や器材、薬剤が登場し臨床の幅が広がる中、それらを活かすための基礎的知識やコンセプトを今一度整理し、また最新の歯内療法に触れる素晴らしい機会となることでしょう。この分野を代表するスペシャリストである両先生のお話を聴けるまたとないチャンスでありますので、多くの先生方、コ.デンタルスタッフ方々のご参加を心よりお待ちしております。

プログラムチェアマン 三隅 一公

第8回 I.O.R. 特別講演会

12月9日(日) 10:00 ~ 17:00

会場：田町グランパークプラザ

〒105-0023 東京都港区芝浦3-4-1

JR田町駅(徒歩5分)

地下鉄都営浅草線・三田線三田駅(徒歩7分)

参加費：会員 8,000円 / 非会員 12,000円

DT / DH 3,000円

定員：100名



ミクロの所見を臨床に生かす 一石灰化が処置にもたらすもの一

中川 寛一 先生 (MicroPex Endodontics, Endodontic Network TOKYO)

歯と歯周組織の病理組織学的変化に特有なものは硬組織の変化である。う蝕による歯質の脱灰や、感染に伴う歯髓腔内の吸収さらに歯根周囲組織においても歯質ならびに周囲歯槽骨の吸収などの破壊性変化が生ずる。

一方、生活歯髄切断後の被蓋硬組織の形成や窩洞形成、支台歯形成後の補綴象牙質の形成、根尖部バリヤーとしてのセメント質添加などが処置による修復性変化として特徴的である。歯内療法処置におけるこのような修復性変化は病理学的に石灰化として位置づけられる。

一方、骨インプラント-骨界面では異物処理の一型として骨による被包が生じ、インテグレーションとしてその植立安定に寄与する。その過程も広義の石灰化である。

本講演ではエンド処置における修復性変化とインプラント組織界面の変化について、石灰化という切り口から共通なミクロ所見を提示し、臨床における指針として考察したい。

最新の歯内療法ってなんでしょう?

澤田 則宏 先生 (澤田デンタルオフィス院長)

ここ数年、歯内療法が脚光を浴びています。何が変わったのでしょうか? 新しい技術により画期的に治療成績が上がっているのでしょうか? かつて使われていた器材や薬剤が今は使わなくなっています。なぜでしょう? 今回はそんな観点から、歯内療法の今昔物語をしてみようと思います。

1. コーンビームCTが開発され、歯内療法は大きな恩恵を受けています。従来のデンタルエックス線写真はもう不要なのでしょうか?
2. マイクロスコープを使うと何が変わるのでしょうか?
3. ニッケルチタンファイルを使用することにより根管形成はとて簡単になりました。なぜニッケルチタンファイルを使うのでしょうか? ニッケルチタンファイルを使わないとどうなるのでしょうか?
4. 根管貼薬剤には何を使っていますか? 根管貼薬剤に何を期待しているのでしょうか?
5. 根管充填はどうやっていますか? ガッターパーチャとシーラーを使った側方加圧根管充填よりはMTAを使った方がいいですよね。さて、皆さんこれらの質問にどれだけしっかり答えられますか? 一緒に考えながら最新の歯内療法について勉強してみましよう。

お申込みは、下記の参加お申込書にご記入の上、I.O.R.事務局までFAXでお送りください。その他本講演会に関するお問い合わせはI.O.R.事務局までメールにてお問合せください。

✉ mail: iorjimu@gmail.com

第8回 I.O.R. 特別講演会 2018年12月9日(日)

参加申し込み書

にチェックをお願いいたします。 会員 非会員

フリガナ
ご氏名 歯科医師 DT/DH

ご勤務先住所 〒

歯科医院名

TEL

FAX

E-mail

FAX送信先 03-3527-3889

参加申し込みにより取得した個人情報は、弊社内規定により厳重に管理し本セミナーに関するお申し込み確認ならびに関係書類の送付に使用いたします。

I.O.R.事務局 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-10 セブンビル7F 株式会社インターベント
TEL:03-3527-3888 FAX:03-3527-3889 mail:iorjimu@gmail.com